

# 平成25年度事業計画書

〔平成25年4月 1日から  
平成26年3月 31日まで〕

当財団は、地下鉄博物館の運営を通じて地下鉄に関する知識の普及を図るほか、交通文化事業及び交通マナー事業を推進し、交通文化の発展に寄与するよう努めております。

平成25年度は、以下のとおり各公益事業活動に積極的に取り組んでまいります。

また、当財団の本館建物につきましては、耐震化を図るため、平成25年度から平成26年度にかけて建替を行います。

## 1 博物館事業

地下鉄に関する資料等の収集、展示、解説及び案内等を通じて、お客様、特に小・中学生など若い世代の方々に対し、地下鉄に関する知識の普及と理解を深めていただくため、以下の事業を行います。

### (1) 博物館の企画行事

本年度における特別展、イベント等を以下のとおり計画しております。

#### ア 特別展の開催

(ア) 「地下鉄利用の変遷展」(仮称) 平成25年6月～8月に開催予定

日本で最初の地下鉄は、昭和2年(1927年)12月、上野～浅草間(2.2km)に開通した東京地下鉄道株式会社の路線(現在の銀座線)でした。開通当時、運賃は均一料金で、利用するためには切符を購入するのではなく、ターンスタイルによる自動改札機に直接10銭白銅貨を投入する方法でした。その後、乗車券や回数券などが登場し、戦後の相次ぐ地下鉄建設・開通に伴い、路線もネットワーク化され、運賃制度も変化してきました。また、駅の安全性や利用しやすさを高めるため様々な施設や設備が導入され、さらに郊外の路線との相互直通運転によって利用者の利便性は大きく変化しました。

この特別展では、日本で最初の地下鉄が開通してから今日に至るまで地下鉄の運賃制度や乗車券の移り変わり、乗車方法の変遷などをパネル等により紹介いたします。

(イ)「日本の主要都市における地下鉄開通の歴史展」(仮称)

平成25年11月～平成26年1月に開催予定

東京を始めとして高度に発達した大都市では、交通需要に対処するため地上交通だけでなく、地下においても鉄道が敷設されるようになりました。地下鉄は、多くの人々をより速く、よりスムーズに運ぶことで人々の暮らしや企業活動になくはならない交通機関となっています。

昭和2年(1927年)12月に日本で最初の地下鉄が東京で開通し、その後、昭和8年(1933年)5月に東京に次いで2番目の地下鉄が大阪で、そして名古屋、札幌、神戸等と順次主要都市にも地下鉄が広がってきました。

この特別展では、主要都市の地下鉄建設の背景や開通の歴史などをパネル等により紹介いたします。

(ウ)「地下鉄における地下空間の秘密展」(仮称)

平成26年3月～4月に開催予定

地下鉄が建設されたことにより、新たな地下空間が生まれ、そこには地下鉄運行に必要な施設や設備があり、また憩いの場や商業施設など様々なものが存在しています。地下の構造物等については、普段、目にするものから、目にするのでできないもの、さらには現在使われていないものなどがあります。

この特別展では、地下空間にどのような秘密が隠されているのか、地下にはどのような施設や設備があるのかなど、様々な謎を少しでも理解していただけるようパネル等により紹介いたします。

イ イベントの実施

入館したお子様に楽しんでいただけるよう、各期間において以下のイベントを行います。

- (ア) 春休み、ゴールデン・ウィーク行事(各種ゲーム大会、地下鉄建設記録映画、アニメ映画上映など)
- (イ) 夏休み行事(お盆休みを中心に各種ゲーム大会、アニメ映画上映など)
- (ウ) 鉄道の日行事(HOゲージ模型電車運転会、子供鉄道セミナーなど)
- (エ) 冬休み行事(各種ゲーム大会、地下鉄建設記録映画、アニメ映画上映など)

ウ 教育実習活動

博物館実習（学芸員資格取得のための実習）、チャレンジ・ザ・ドリーム（近郊の中学校からの要請による職場体験学習）等の教育実習活動を受け入れます。

（２） 地下鉄関連資料の収集、保存及び貸出し

地下鉄に関する各種資料、写真等を継続的に収集、整理、保存するとともに、資料のデータベース化を進めていきます。

さらに、データベース化した貴重な資料を基にホームページに公開している「メトロアーカイブアルバム」の拡充に向け、内容の更新等に努めていきます。また、自治体や学校等から要請があった場合には、所蔵資料などの貸出しもいたします。

（３） 展示物の更新及び施設の改良等

東西線高架下のお客様用駐車場に隣接する用地が新たに借用できることから、駐車スペースの増設と博物館の所蔵物等を収納する倉庫を設置します。また、経年劣化により故障が発生している自動券売機２台については、交通系電子マネー対応型の機種への置き換えを行います。さらにその他展示物等についても経年劣化に対応し更新等を行います。

（４） 新規商品の開発と販売

入館されたお客様から要望が多い博物館オリジナル商品の開発を積極的に行い、お客様に喜んでいただき来館記念となるよう努めます。

本年度も博物館の管理・運営については、なお一層多くのお客様に来館していただけるよう、ポスターやホームページ、携帯サイトなどの媒体を通じて特別展や各種イベント等を紹介するとともに、テレビ局、新聞社・雑誌社等メディアの取材、インタビューに積極的に対応し、博物館のPR活動を推進いたします。

## ２ 交通文化事業

音楽会、文化展、歴史教室等の催しを通じて、多くの方々に、文化的で豊かな日々を提供するため、以下の事業を実施します。

（１） メトロコンサートの開催

青少年への音楽文化の普及を図る文化活動の一環として、メトロコンサートを地下鉄博物館ホールにおいて年３回開催いたします。

(2) 「メトロポリス・クラシックス」コンサートの開催

気軽に楽しくクラシック音楽に触れていただくため、「メトロポリス・クラシックス」コンサートを年1回開催いたします。

(3) 音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）の開催

福祉活動に寄与するため、都内及び近郊の福祉施設、病院等において「音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）」を年7箇所において開催いたします。

(4) メトロ文化展の開催

絵画、写真及び文学に係る作品を募集して、その中から優秀作品等を選び、以下のとおり「メトロ文化展」を開催いたします。

ア 児童絵画の部（メトロ児童絵画展）

地下鉄に興味を持っていただけるよう、小学生を対象に安全やマナーに関する絵画作品を年1回募集し、特選、入選、佳作、奨励の各賞を計600点選考のうえ、「メトロ文化展 児童絵画の部」として駅構内及び地下鉄博物館に展示いたします。

イ 写真の部（メトロ写真教室・写真展）

撮影テクニックの習得をはじめ、都内の名所旧跡、下町風情の残る地域などを撮影する喜びを体験していただくため、参加者を募集し、専門家による写真教室及び撮影会を年2回開催し、撮影作品の中から選考のうえ、「メトロ文化展 写真の部」として駅構内に展示いたします。

ウ 文学の部（メトロ文学館）

電車内で、文化的な雰囲気と潤いを感じていただくため、詩の募集を年2回行い、優秀作品を選び、車内ポスターに掲出するとともに、入選作品を「メトロ文化展 文学の部」として駅構内に展示いたします。

(5) メトロ歴史教室の開催

都内に残る名所旧跡など歴史的文物を知っていただくため、参加者を募集し、専門家による解説と現地を探訪する歴史教室を年2回開催いたします。

(6) Echika 池袋ギャラリーの運営

芸術文化の振興に寄与し、また駅におけるゆとりと潤いのある文化的空間の創造、

さらには文化芸術の薫る街を目指す地元地域の発展に資するために設置された「Echika 池袋ギャラリー」の管理運営を行います。展示につきましては、地元豊島区と当財団が行います。

(7) パブリックアートの設置

芸術文化の振興に寄与し、人々の心に潤いを与えるため、「パブリックアート」を有楽町線豊洲駅に設置いたします。

豊洲駅は、現在東京地下鉄（株）が大規模改良工事中であり、改良に合わせ設置場所を確保できることとなりました。設置する「パブリックアート」は、地元豊洲地区の今昔をイメージした陶板レリーフ1面の予定です。

3 交通マナー事業

交通マナーの高揚を図るため、以下の事業を実施します。

(1) マナーポスターの制作・掲出

交通マナーの高揚を図るため、交通道德宣伝用マナーポスターを制作し、毎月、駅構内等に掲出いたします。

(2) 「地下鉄のはなし」の制作・配付

小学生を対象として、交通マナー、地下鉄の歴史、役割、安全への取組み等を解説した小冊子「地下鉄のはなし」を15万部制作し、地下鉄博物館及び主要駅に常置いたします。

(3) 鉄道教室の開催

交通マナーや地下鉄の知識を深めていただくため、小学生とその保護者を対象に参加者を募集し、施設見学及びセミナー等を行う鉄道教室を年1回開催いたします。

(4) 啓蒙用グッズ類の配付

交通道德宣伝用啓蒙グッズを制作し、各種イベント参加者等に配付いたします。

4 本館建物の建替について

当財団が所有する本館建物は、昭和49年7月に建築し、現在、38年9箇月間が経過しております。

本館建替につきましては、経年劣化に対応するため、当初平成36年度に建替を行う計画としておりましたが、本建物は、現在の耐震基準を満たしていないことから、早期の耐震化につきましても検討してまいりました。

検討の結果、東日本大震災以降、首都直下地震の被害想定等が公表される中、安全上、早期に本館建替を行うこととし、平成25年度に着手し、平成26年度内に竣工する予定です。

以 上

## 平成25年度 資金調達及び設備投資の見込について

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

### 1 資金調達の見込について

当期中における借入れの予定はありません。

### 2 設備投資の見込について

当期中における重要な設備投資の予定は下記のとおりです。

(単位:円)

設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法又は取得資金の使途
本館建替工事(設計費、工事前渡金等)	174,050,000	本館建替積立資金の一部取崩し
本館仮移転先内装工事	25,380,000	減価償却引当資産の一部取崩し
博物館倉庫設置	13,000,000	減価償却引当資産の一部取崩し
博物館自動券売機更新	9,000,000	減価償却引当資産の一部取崩し
パブリックアート設置	20,000,000	現預金(流動資産)から充当

